

2023年度 事業報告書

特定非営利活動法人 国際インフラパートナーズ

1 事業の成果

(1) 経済技術協力事業

(イ) 外務省の日本NGO連携無償資金協力により2016年度以来継続していたミャンマー連邦共和国における沈下橋建設と技術移転事業は5箇年度で中断したが、その間の技術移転成果を定着させるため、今後とも交流を続けることにつきミャンマー建設省と意見が一致している。完成した沈下橋の状況について現地から逐次報告が入っており、地元住民にとって不可欠な社会基盤になっていることを認識しているところである。

一方、ラオス人民民主共和国は東南アジアにあってミャンマーとほぼ同じ緯度に位置して気候が似ており、過去に行った調査によって1人あたりGDPが低くて地方部の道路整備が遅れているとの認識を得ており、沈下橋が有効な解決策となると考えられることから現地調査を行った。多数の適地が存在することを確認したので数次の調査から候補地を絞り、令和5年度外務省N連事業「ルアンパバーン県における沈下橋の建設と技術移転事業」として3橋の申請を行って採択された。2024年2月9日には在ラオス日本国大使館との間で資金贈与の契約が交わされ、2024年12月の竣工に向けて鋭意工事中である。また、沈下橋建設への数多い要望に応え、沈下橋技術を定着させるため、令和6年度にも新規地点の申請を行うため調査を行った。

2024年6月18日には、秋篠宮皇嗣殿下ご臨席のもと、「開発途上国における沈下橋の建設と技術移転」が第26回日本水大賞国際貢献賞として表彰された。

(ロ) ミャンマー国内の事情もあって、JICA草の根技術協事業は2022年4月に終了したが、JIPとミャンマー建設省との交流をできるだけ継続することが確認されており、国内においても関係者の間で研究と意見交換を継続している。

(2) 技術交流等事業

ミャンマーの技術者を招いて日本の沈下橋を見てもらい、関係者との意見交換を通じてミャンマー国内での広報に努めてもらうこととした。日本留学中の学生・技術者と国土交通省の職員の交流を支援した。また、近年の発展がめざましいアジア諸国の現況を、最近のアジアハイウェイルートを走破した識者の講演会を開催した。英語版ウェブサイトを構築するなど、日本発の情報発信を継続した。

(3) 相互理解・友好関係の増進事業

ウェブサイトの逐次更新、海外事情ニュースの配信を行って世界のインフラストラクチャー事情の理解増進に努めた。また、日本水大賞に応募し、土木学会年次学術講演会に投稿するなど、広報活動を推進した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 6,164 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
(1) 開発途上国等支援のための経済技術協力等事業	(イ) 外務省のN連無償資金協力によるラオス人民民主共和国における沈下橋建設事業の準備と実施	2023.7 ～2024.6	ラオス国 ルアンパバーン県	日本5 ラオス4	ラオスの 地方部住 民	ラオスの ルアンパ バーン県 住民多数	29,928
	(ロ) ミャンマー国労働集約型簡易舗装実施支援事業のフォローアップ	2023.7 ～2024.6	東京	10	ミャン マー地 方部 の住 民	1,500 万人 (人口 の1/4)	
(2) 同、技術交流等事業	来日技術者との交流、意見交換	2023.9～ 10	東京	10	業務参 加者と 来日 技術者	40人	751
(3) 同、相互理解・友好関係の増進事業	講演会の開催、ウェブサイトの逐次更新、雑誌への投稿、海外事情ニュースの配信を行って世界のインフラストラクチャー事情の理解増進に努めた。	2023.7 ～2024.6	東京	5	国内及 び 国外	約 10,000 人と 想定	153

(2) その他の事業 その他の事業は行っていません。

以上